

● 遊びの実践学習会（山梨県南アルプス市立巨摩保育所）

研修会で学んだことを活かして保育者がプレイリーダーとなり、遊びの実践を行い、振り返りを通じてプレイリーダーとしての向上を目指します。

まねっこ遊び

遊びの例：

子供がイメージしやすいように、ネコ、イヌ、ゾウ、ウサギなどの身近な動物や乗り物などのまねをして遊びます。

P

ポイント：

最初から「ネコのまね」、「はしご車のまね」と言うのではなく、「耳が立っていて、ひげが生えているものなんだ?」とか、「赤くて、長く伸びるものなんだ?」というように子供にイメージをさせながらまねっこをするといいでしょ。また、状況をイメージして「おいしいニンジン畑までウサギさんで跳んでいこう!」というより動きを引き出すことができます。



玉入れのボール遊び

事前の準備：遊びの前に紅組と白組に分け、紅組は赤玉、白組は白玉を使用します。

遊びの例：

- ・集会用のテントの屋根に向かって、玉入れのボールを投げます。紅組と白組、どちらが多く屋根に乗せられるかを競います。
- ・マットの両サイドにひもを付け、保育者2人が持って動きます。子供はマットに向かってボールを投げます。紅組と白組、どちらが多くマットに乗せられるかを競います。



ビニール袋を使った遊び

ビニール袋やり投げ

事前の準備：傘を入れるビニール袋の先を三角に折り、ガムテープでとめておきます。

遊びの例：

- 1) 自分のビニール袋に息を吹き込んで膨らませます。保育者は端を結んでとめます。
- 2) 投げて遊びます。
- 3) 友達と投げたり取ったりしてみましょう。

ビニール袋ドッジボール

事前の準備：レジ袋に新聞紙を4枚くらい詰めてボール型にします。

遊びの例：

- 1) 円を書き、中の子供は外から投げられるボールに当たらないように逃げます。
- 2) 当てられた子供は外に出ます。当てた子供は中に戻ります。

保育者の声

- ・プレイリーダーをやってみることで、もっと自分に知識と楽しむ心がないと子供に遊びを提供できないんだなと実感することができました。
- ・今日はボールだったんですが、子供をどうやってその遊びにひきこめるかというところで、ボールに行き着くまでの段階をすごく考えるようになりました。
- ・子供の側に立って考えを予想すると、だいたい子供は喜んで遊んでくれるので、自分がワクワクすることを見つけるようにしています。